

平成30年12月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

一般財団法人
北海道国際交流センター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 北海道科学大学 国際協力講義

企画実施概要: 北海道科学大学において一般科目として国際協力講義を行う
講義テーマ「アフリカでのNGO活動」

対象者および参加人数 対象者: 義肢装具、臨床工学科 1年
参加人数: 67名

2 出張者氏名 岡田 朋子

3 依頼元／主催団体名 北海道科学大学 教授 小川直久氏

4 実施予定日時 平成30年11月29日 (木) 9:00～10:30

5 実施場所 北海道科学大学 構内 (住所: 北海道札幌市)

6 実施報告 北海道科学大において義肢装具、臨床工学科1年生を対象に国際協力についての講義を行った。講義内容はODAやSDGsなどの説明、行政が行っている国際協力とNGOが行っているNGOの違いなどを説明した後、身近なところから国際協力を考えてもらうために、スマートフォンを題材にクイズやディスカッションの交えて説明した。学生はスマートフォンの部品であるレアメタルがアフリカのコンゴから産出され、それが原因で紛争につながっている現実を知り興味深い様子だった。ほとんどの学生が国際協力についてほとんど知識がない状態だったが身近なスマートフォンを題材にしたことで、少しでも国際協力について知ってもらう機会となったのではないと思われる。

7 写真



講義の様子



講義の様子

以上

平成30年12月11日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

認定NPO法人IVY

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 国際理解実践フォーラム2018

企画実施概要: ①実施内容
難民を知るワークショップⅡ～ミャンマー避難民編～

②対象者および参加人数
一般市民対象。参加者36人、ボランティア4人、マスコミ1人

2 出張者氏名

安達 三千代

3 依頼元／主催団体名

4 実施日時

平成30年11月25日（日） 9:00～12:00

5 実施場所

霞城セントラル(住所:山形県山形市)

6 実施報告

- ・有意義なワークショップでした。これからもたくさん機会を設けてほしいです。素晴らしい活動に拍手です。
- ・難民キャンプの過酷な生活条件と水と衛生の重要性がよくわかりました。
- ・日本は難民と接触する機会がほとんどありませんが、深く考えるきっかけになりました。
- ・講義形式ではなく、自ら体験できる設定を今後学校でも活用させていただき、生徒たちと考えていければと思いました。
- ・助けてあげたい気持ちが強くなりました。

7 写真



自分たち家族の入ったクトウパロンキャンプ19の位置を確認する参加者

(写真1)



長屋のようにビニルシート1枚で隣りにつながっているシェルターをイメージした会場。将来の選択肢について、グループごとに話し合う参加者。

(写真2)

以上

平成31年2月18日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
開発教育協会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: ESD推進ネットワーク全国フォーラム2018

企画実施概要: ①実施内容
地域や学校で、国際協力・国際理解、ESDに取り組んでいる団体や個人が参加するイベントで、国際協力、開発教育や国際理解教育に関する相談ブースを出展した。
来場者(全国の教員や組織が中心)からの国際協力に関する質問だけでなく、開発教育や国際理解教育に関する教材・資料等の照会にも対応した。
②対象者および参加人数
全国のESDや国際協力に興味のある個人・団体 約300名

2 出張者氏名 岩岡由季子

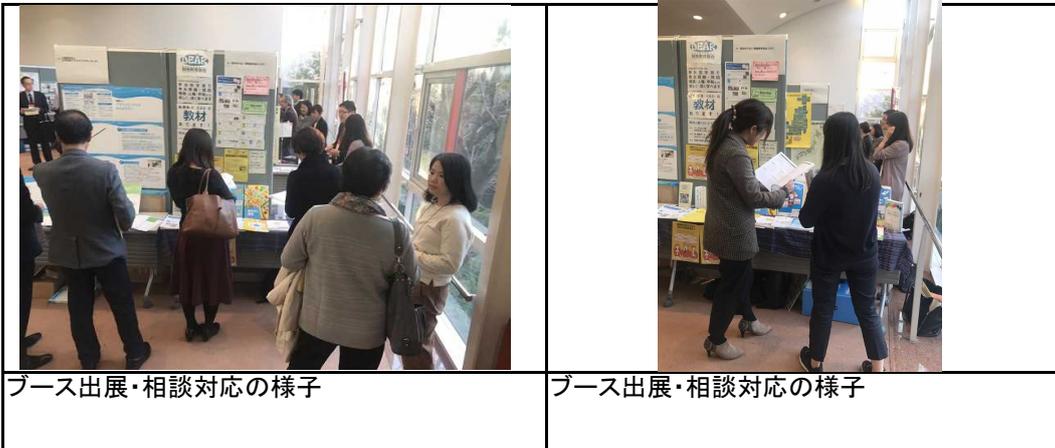
3 依頼元/主催団体名 ESD活動支援センター

4 実施予定日時 平成30年11月30日(金) 10:00 ~18:00

5 実施場所 国際オリンピック記念青少年総合センター(住所:東京都渋谷区)

6 実施報告
・国際協力、開発教育や国際理解教育に関する相談ブースを出展した。参加していた教員や団体職員から、教材の利用方法に関する相談を複数受けた。
・ESD活動支援センター等の他ブースに行って、開発教育やESDの実践状況などを聞いて回った。開発教育の導入に向けた相談等に対応した。

7 写真



ブース出展・相談対応の様子

ブース出展・相談対応の様子

(写真1)

(写真2)

以上

平成31年2月18日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
アイキャン

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名:** 「ワールド・コラボ・フェスタ2018」における相談対応サービス業務
- 企画実施概要:**
- ①実施内容
中部地区最大の国際交流・協力イベント(2日間の来場者約8万人)において、2日間出展し、来場者や他の出展団体への相談対応業務を行った。
 - ②対象者および参加人数
来場者 約8万人

2 出張者氏名 小椋 美友紀(1日目)、吉田 文(2日目)

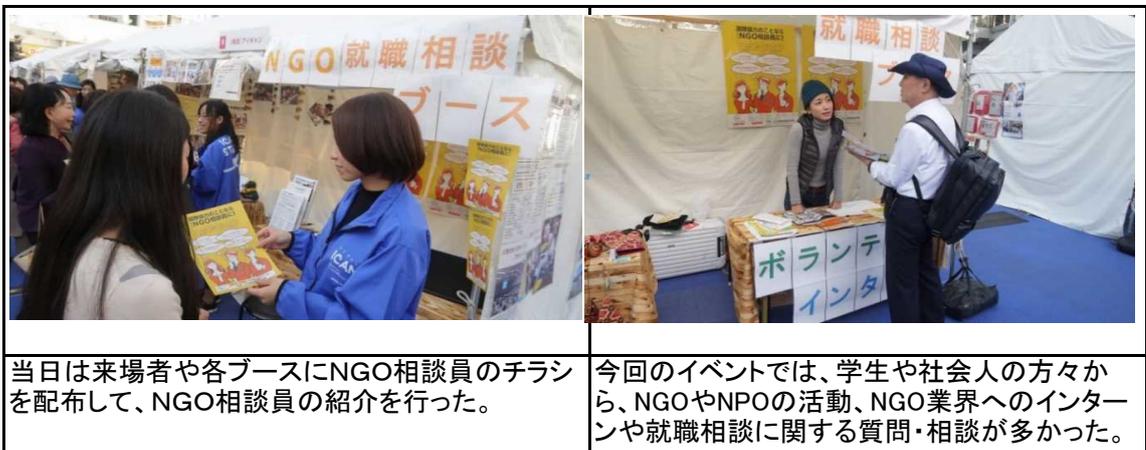
3 依頼元／主催団体名 ワールド・コラボ・フェスタ実行委員会

4 実施予定日時 平成30年11月10日 (土) 10時00分 ~ 17時00分
~ 平成30年11月11日 (日) 10時00分 ~ 17時00分

5 実施場所 オアシス21「銀河の広場」(住所:名古屋市東区)

6 実施報告 今回のイベントでは、「NGOボランティア・インターン・就職相談ブース」としての相談員を全面に出しブースを出展した。そのため、当日はボランティアやインターンに関心のある方や、NGOへの就職を検討している方からの相談が多かった。主な相談内容は、NGOやNPOの活動、働く上での苦勞ややりがい、ボランティアやインターンの業務内容についてであった。また、イベント内で相談員のチラシを各ブースをまわって配布する中で、他のNGO団体から資金調達方法やODAスキームに関する質問や相談も多くいただき、2日間を通して、改めてNGO相談員の必要性を感じた。

7 写真



(写真1)

(写真2)

以上

平成31年2月18日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
アイキャン

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 「国際交流フェスティバル2018 in TOYAMA」における相談対応サービス

企画実施概要： ①実施内容
富山県富山市で開催される「国際交流フェスティバル2018 in TOYAMA」において、来場者への相談対応業務を行う。

②対象者および参加人数
来場者 約6,000名

2 出張者氏名

小椋 美友紀

3 依頼元／主催団体名

富山市民国際交流協会、JICA北陸

4 実施予定日時

平成30年11月11日（日） 10時30分～16時30分

5 実施場所

富山駅 南CiCビル（住所：富山県富山市）

6 実施報告

イベント内で相談員のチラシを各ブースを周って配布しつつ、ブースでの相談対応を行った。来場者からの主な相談内容は、NGOやNPOの活動、働く上での苦勞ややりがい、NGOへのインターンや就職相談であった。また、他のNGO団体からは、助成金情報や他団体の資金調達方法に関する質問が多く、イベントを通して改めてNGO相談員の必要性を感じた。今後も、組織基盤の強化やNGO相談員の質の向上のために、JICA等との連携や情報共有を行っていきたい。

7 写真



イベントの実施場所が駅周辺だったため、多くの方々に来訪頂いた。今回参加したことがきっかけでNGOに興味を持ってくださる方も多数いた。

(写真1)



今回のイベントでは、学生や社会人の方々から、NGOやNPOの活動、NGOへのインターンや就職相談に関する質問・相談が多かった。

(写真2)

以上

平成31年2月18日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

公益社団法人
日本国際民間協力会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: リノベーションエキスポ京都

企画実施概要: ①実施内容: 環境への負荷を低減する住宅のリノベーションを通じて、多文化共生を推進するイベントにて、相談員ブース出展を行い途上国での住環境や文化、自然災害の後の住宅再建事業について啓発活動を行った。

②対象者および人数: 約120人(ブース来場者)

2 出張者氏名

大豊盛重、岡田克彦

3 依頼元/主催団体名

一般社団法人 リノベーション住宅推進協議会

4 実施予定日時

平成30年11月17日 (土) 10:00 ~ 16:00

平成30年11月18日 (日) 10:00 ~ 16:00

5 実施場所

京都市国際交流会館(京都府京都市)

6 実施報告

国際協力NGOがどんなことをしているか。テレビでしか見たことの無い世界で本当にやっている人に出会ったのは初めてと驚いた。

日本のNGOが行うシリア難民支援の活動について、具体的に話が聞けて勉強になった。

循環型トイレなど日本の技術が途上国で貢献していることに驚いた。また、耐久性や仕組みについて、現地に技術移転していることが、持続性につながる事が分かった。

7 写真



NGO相談ブースで日本のNGOがアフリカで建設する循環型トイレについて解説している様子(大豊)

(写真1)



NGO相談員ブースにて、外国人からの相談に対応している様子(岡田)

(写真2)

以上

平成31年2月18日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

公益社団法人
日本国際民間協力会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: あすのKyoto・地域創生フェスタ

企画実施概要: ①実施内容: 京都府国際センターが主導となり、「クイズで知ろう多文化共生と国際協力」と題すブースを設け、国際協力団体が多文化共生と国際協力の啓発活動を行う。当会は、NGO相談員ブースを出展し、国際協力に関する相談質問に対応した。

②対象者および参加人数
一般市民約400人(イベント全体では約10,000人)

2 出張者氏名

大豊盛重

3 依頼元/主催団体名

きょうと地域創生府民会議

4 実施予定日時

平成30年11月23日 (金) 10:00 ~ 16:00

5 実施場所

京都府立植物園 大芝生地ほか(京都府京都市)

6 実施報告

シリア難民の人数の多さに驚いた。解説では、京都府の人口と比較していたので、具体的にイメージが出来た。

国際協力NGOが京都にたくさんあることに気づくことが出来た。

世界の難民問題について、家族で考えるきっかけになった。

7 写真



(写真1)

(写真2)

以上

平成31年2月18日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

公益社団法人
日本国際民間協力会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 第6回清水寺で世界を語る

企画実施概要： ①実施内容
世界遺産でもある清水寺にて、世界で起きている社会問題について考えるイベント。NGO相談員のブースを出展し、加えて国際協力のキャリアについてパネルディスカッション形式の講演を行った。

②対象者および参加人数
一般市民約100名(ブース訪問者)、講演約20名

2 出張者氏名 大豊盛重

3 依頼元/主催団体名 清水寺で世界を語る実行委員会

4 実施予定日時 平成30年11月25日 (日) 10:30 ~ 15:30

5 実施場所 清水寺(京都府京都市)

6 実施報告 日本のNGOがシリア難民に対して行っている支援活動について、具体的に知る機会になった。

世界の難民問題について、考える機会になった。

国際協力のキャリアを選ぶうえで、NGOの働き方など話をまとめて聞くことが出来てよかった。

7 写真

	
参加者を前に国際協力の中でNGOでの活動内容やキャリア形成について話すNGO相談員(大豊)	国際協力のキャリアについてトークセッションで話をするNGO相談員(大豊)

(写真1)

(写真2)

以上

平成31年2月18日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
関西NGO協議会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 国際協力に関する講演:企業向けSDGsミニ講座「はじめてのSDGs～世界共通の目標SDGsを通じて、企業の取り組み、私たちの生活を考える～」

企画実施概要: ①実施内容:CSR部署以外の社員を対象に、SDGs概論の講座、ワークショップを通じてSDGsの理解を深め、SDGsに対する取り組みや関西でのSDGsプラットフォームの動きを理解し、連携・協働の機運を醸成する。

②対象と参加人数:株式会社フェリシモの社員35名

2 出張者氏名 松岡秀紀・高橋美和子(関西NGO協議会)

3 依頼元/主催団体名 株式会社フェリシモ

4 実施予定日時 平成30年11月6日 (火) 15:00 ~ 17:00

5 実施場所 株式会社フェリシモ(神戸市中央区)

6 実施報告 企画課や総務、広報など様々な部署から参加いただき、ワークショップの参加、終了後の質疑応答も熱心であった。企業としてサプライチェーンの問題を考えると「つくる責任、つかう責任」のゴールが気になるが、厳しい価格競争のなかで、重要としながらも十分に対応できない現状について報告があった。また、「2020年オリンピック開催時に問題となっている選手村の食事はSDGsとも重なる点が多い、日本政府の対応を知りたい。」「ESD投資とSDGsの関係についてわかりやすく説明してほしい」といった質問を受け対応した。参加者にとっては、初めて講師を呼びSDGsを学ぶ機会であったが、社内での普及啓発の機会にになったと思われる。今後、企業の本業とSDGsの目標をどのように結び付けていくのが課題と思われる。

7 写真



(写真1)

(写真2)

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: ぐるっと ワールド in Miki ～世界を知ろう！体験しよう！～

企画実施概要: ①実施内容
上記イベントに相談員ブースを出展し、イベント参加者及び出展団体からの相談に応じる。

②対象者および参加人数
約800名
相談者 9名

2 出張者氏名 坂西 卓郎

3 依頼元／主催団体名 三木ロータリークラブ、三木市国際交流協会

4 実施予定日時 平成30年11月11日（日） 11:00～15:30

5 実施場所 三木市立かじやの里メッセみき（兵庫県三木市）

6 実施報告 「最近外国人在住者が増加しているにもかかわらず、交流の場が少ないので、共生を考える機会とする」という目的で、三木市国際交流協会が主催。今回はNGO相談員にぜひ出展してほしい、ということで出展をした。

ブースには、教育関係者や学生が訪れ、国際協力の質問に対応した。国際協力に興味がある学生や、教育関係者の相談に対応した。これらの相談内容に対応し、国際協力への関心と理解を促進し、また、地域の国際交流協会と当団体との連携という点で意義ある出展だった。

7 写真

	
(キャプション)NGO相談員ブースの様子	(キャプション)体験プログラム、ミャンマーのタナカ体験の様子

(写真1)

(写真2)

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 第19回NGOスタディツアー合同説明会

企画実施概要: ①企画内容: NGO合同(10団体を予定)によるスタディツアーの説明会会場にNGO相談員ブースを出展し、説明会参加者からの相談を受け付ける
②対象者および参加予定人数: 国際協力に関心がある大学生、社会人、シニア。42名

2 出張者氏名 中西美樹(PHD協会)、谷川詩織(関西NGO協議会)

3 依頼元/主催団体名 株式会社マイチケット

4 実施予定日時 平成30年11月17日(土) 13:30~17:00

5 実施場所 龍谷大学大阪梅田キャンパス(大阪府大阪市)

6 実施報告 「スタディツアー、国際協力、NGO全般に関する相談を受け付け、理解を深めてもらう。」という目的で、マイチケットの依頼を受けブースを出展した。

当日は、国際協力に関する基本的な質問だが、どこに問いかけていいのかこれまでわからなかったという学生さんや、国際協力の分野でキャリアを積みたいが、どのようにすればいいかわからない、という学生さんなどが訪れた。2団体体制であったため、各団体の強みを生かした説明を行うことができた。スタディーツアーに興味がある学生に、関連した国際協力分野の相談対応ができ、各学生には大変喜んでいただけたため、有意義な相談対応ができたといえる。

7 写真



(キャプション) NGO相談員ブースの様子

(写真1)



(キャプション) スタディーツアー合同説明会本体の様子

(写真2)

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 香里ヌヴェール学院での国際協力についての講演

企画実施概要: ①実施内容

香里ヌヴェール学院高校にて、NGO相談員としてPHD協会職員とアジアからの研修生が訪問し国際協力の概要とアジアの農村の課題を語り、国際社会の一員としての私達が「共に生きる」ことについて共に考える時間とする。

②対象者および参加人数

高校生1年生 47名

2 出張者氏名 中西 美樹

3 依頼元／主催団体名 香里ヌヴェール学院高等学校

4 実施日時 平成30年11月30日（金） 13:30～15:00

5 実施場所 香里ヌヴェール学院高等学校（大阪府寝屋川市）

6 実施報告 香里ヌヴェール学院においてスーパーイングリッシュコースの1年生に対して、アジアの農村の現状と課題、日本の国際協力の取り組み事例を中心とした講演を行った。また、外務省とNGOとの連携について言及し、外務省NGO相談員制度のPRを行った。

スーパーイングリッシュコースの学生は、英語を集中的に学んでおり、英語を学ぶ背景から、国際社会への興味も高いと思われる。また1学期からグローバル課題にも取り組んでおり、今回は2回目の国際協力の講演であった。学生には、国際協力の概要、日本のNGO活動、発展途上国の課題とそれに対する取り組みなどについて話した。また、私達日本人も国際社会や特に途上国の人から学ぶことも多くある点を強調し、国際社会の一員として「共に生きる」ことは「学びあい」であると伝えた。担当の先生によると、学生たちは、これまでアジアの途上国の現状について聞いたことがないようであったため、アジアの途上国に生きる人々の生活の厳しさやたくましさについて聞いていただけたことは意義があったと思われる。一つ一つなぜだろうと考える場面でこちらから質問をしても学生たちは意欲的に回答してくれた。発展途上国の課題や国際協力についての理解の一助になったのではないかと考える。

7 写真

<p>(キャプション) NGO相談員制度及び外務省との連携について説明しているところ</p>	<p>(キャプション) 会場の全景</p>

(写真1)

(写真2)

平成31年2月18日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
ピースウィンズ・ジャパン

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、ご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: レスキュー犬やそれに携わる方々の思いを知り、今後の生活に生かそう

企画実施概要: ①実施内容
災害支援や国際協力にかかわる活動や、殺処分予定だった犬を救助犬に育てる活動について講話形式で紹介。災害に負けないためにはどうすればよいか、犬や猫と仲良く暮らすためにはどうすればよいか、児童たちと一緒に考えた。
②参加者数
小学校3年生12名、4年生13名

2 出張者氏名

國田博史

3 依頼元／主催団体名

邑南町立石見東小学校

4 実施日時

平成30年11月8日 (木) 14:00～14:45(授業時間:14:00～14:55)

5 実施場所

邑南町立石見東小学校(島根県邑智郡)

6 実施報告

本講話では、大きく分けて災害支援事業と救助犬育成活動について説明した。

①災害支援事業
ネパールや中国の地震、広島・岡山での豪雨被害などでの支援活動について写真や経験談とともに紹介。児童にとっては生まれる前の出来事であったり、行ったことのない外国での事例もあったが、真剣に聞いている様子が見受けられた。

②救助犬育成活動について
トレーニング方法や、災害現場での活躍を紹介。4年生は昨年働く犬というテーマで調べ学習を行っており、3年生はこれから調べ学習に取り組むということ。「なぜ犬はがれきの下から人を見つけられるのか」という問いかけに対し、「臭いでわかるから」、「犬の嗅覚が人間の何倍も優れているから」とすぐに反応があった。災害救助犬にも、介助犬、セラピー犬、低血糖アラート犬として活躍していることを紹介した。弊団体に活動する犬たちはもとは捨て犬であり、殺処分される予定であったこともお話しした。また、人間の都合で殺されてしまう予定であった犬たちが、今では被災した人々を助けるために活躍していることを伝えた。

最後に、地震が起きた時の身の守り方をレクチャーし、犬や猫と仲良く暮らすためにはどうすればよいか考えよう、と投げかけた。

7 写真



(写真1)

(写真2)

以上

平成31年2月18日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
ピースウィンズ・ジャパン

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名:

ミャンマー難民支援活動について

企画実施概要:

①企画内容

環太平洋大学の次世代教育学部国際教育学科の国際ボランティア論において、ミャンマー避難民人道支援活動について講演を行う。

②参加者数

次世代教育学部国際教育学科4年生「国際ボランティア論」受講者11名のうち3名

2 出張者氏名

ニティアン・ビーラバーク (Nithiananthan Veetavagu)

3 依頼元/主催団体名

環太平洋大学国際教育学科

4 実施日時

平成2018年11月13日 (月)

16:50~18:20

5 実施場所

環太平洋大学第1キャンパス(岡山県岡山市)

6 実施報告

NGOの活動内容とミャンマー避難民支援について講演を行った。

①PWJの活動について

まず、講演者自身がスリランカ内紛による難民だったというバックグラウンドを紹介し、難民支援活動に関わる思いを語った。スリランカ内紛について知らなかった学生も多く、当事者の体験談を直接聞ける貴重な経験となった。

その後、PWJの国内外多岐にわたる事業を動画や写真を交えて紹介した。

②ミャンマー避難民支援について

まず、「ミャンマー避難民」と呼ばれる人々の歴史的バックグラウンドや、1990年代や2017年のミャンマー国軍による掃討作戦について説明した。また、2017年に国境を越えてラカイン州からバングラデシュへ避難するために、川やぬかるんだ山道を移動する人々の様子を伝えた。

学生からは「NGOが活動するにあたって、フィールドで大変なことは何か」、

「(人々は)難民キャンプからミャンマーに戻りたいと思っているのか」といった質問があった。

7 写真



(写真1)

(写真2)

以上

平成31年2月18日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
ピースウィンズ・ジャパン

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名:

企画実施概要:

①実施内容

海外におけるNGO支援活動の現状や課題・ODA事業について、総合的な学習(羅針)の時間の中で25分程度の講義を2コマ行うかたちで講義を行う。まず海外緊急支援におけるレスキュー犬の活動等、そして国際協力の活動全般について例を紹介しながら話し、2コマで国際協力の理解を深めてもらう。

②対象者および参加予定人数

広島県立三原高等学校の1年生

2 出張者氏名

大西純子・角免昌俊

3 依頼元／主催団体名

広島県立三原高等学校 教諭 清水 智貴

4 実施日時

平成30年11月14日 (水) 15:20~16:05(授業時間:15:20~16:10)

5 実施場所

広島県立三原高等学校(広島県三原市)

6 実施報告

①国際協力について

講演者の経験をもとに、パキスタンでの災害支援、シエラレオネ難民支援、イラクでの緊急支援やクルド人の復興支援について紹介した。生徒からは「支援に行った職員自身の命が危険にさらされることはないのか」といった質問があった。教諭によると、生徒の中には西日本豪雨の被害を受けた家庭もあるとのこと。海外での災害支援活動に対して、興味深く話を聞いている様子が見受けられた。

②保護犬事業について

動物愛護センターでの犬殺処分の状況や、広島における保護の現状などを共有し、犬殺処分0を目指す弊団体の活動について紹介した。捨て犬であった「夢之丞」が、人に慣れるところから災害救助犬として成長し活躍するまでの過程も説明した。

7 写真



国際協力の講演の様子
難民として逃れてきた男性のカバンの中身を紹介した。

(写真1)



保護犬事業の講演の様子
ワンコのプロとして働くという選択肢があることを説明。

(写真2)

以上

平成31年2月18日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
ピースウィンズ・ジャパン

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 国際フェスタにおけるブース出展でのNGO相談業務

企画実施概要： ①実施内容
毎年広島で行われる国際フェスタ2018にてブースを出展し、人道支援活動やODA事業の理解促進を目的としたNGO相談員の相談業務を行う。

2 出張者氏名

森口 さおり(もりぐち さおり)

3 依頼元／主催団体名

公益財団法人広島平和文化センター

4 実施予定日時

平成30年11月18日 (日) 午前9時00分～午後6時00分(うち昼休憩1時間)

5 実施場所

広島国際会議場(広島県広島市)

6 実施報告

公益財団法人広島平和文化センター担当者からご案内をいただき、例年通りブースを出展した。広島では規模が大きく世界中の料理が楽しめ、数々な企画に参加できるこのイベントには国籍問わず幅広い世代の方々が来場した。実施日が日曜日だった事もあり、家族連れや学生も多くブースに足を運んでいた印象だった。
ブースでは、NGO相談員ポスターを張り団体活動の紹介を行った。また、ブース前ではミャンマーで実際に使用されている天秤棒の水汲み体験をしてもらい、ミャンマーでの水についての課題をはじめSDG'sについての関心を促した。
当日は、教育機関からブースに足を運ばれた教師数名ともお話しをし、NGO相談員出張サービス制度やNGO相談員について詳細をお伝えした。

・所感

ブース以外にも著名人のトークや、多国籍料理を屋外で楽しめたりとバラエティに富んだイベントであった。親子連れや学生が特に多く、数名の学生からは卒業後のキャリア相談を受けた為、自分自身の経歴を例に紹介しながら、国際協力のフィールドでキャリアを形成するアプローチのいくつか紹介した。またブースを訪れた人同士の交流も生まれており、国際協力紹介を通じて人が繋がっている事を実感した。

7 写真



(写真1)

(写真2)

以上

平成31年2月18日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
ピースウィンズ・ジャパン

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名:

くらし国際交流フェスティバルでのNGO相談出張サービス

企画実施概要:

①企画内容

鳥取県内で国際交流・協力活動を行っている市民団体などが中心となって毎年開催されている国際交流イベントにおいて、NGO相談員の相談業務を行う。

②参加者数

鳥取県倉吉市および周辺一般の方々 イベント参加者のうちNGO相談員ブース訪問者約100人(うち口頭で相談対応15人)

2 出張者氏名

東村康文

3 依頼元／主催団体名

くらし国際交流フェスティバル2018実行委員会、公益財団法人鳥取県国際交

4 実施日時

平成2018年11月25日 (日) 9:00~18:00(うち昼休憩1時間)

5 実施場所

伯耆しあわせの郷(鳥取県倉吉市)

6 実施報告

JICA中国センターの鳥取デスク国際協力推進員の方からの紹介で、出張サービスのブースを出すことになった。くらし国際交流フェスティバルイベントは盛況で、人口は少ない地域にもかかわらず大勢の参加があった。当地域の特徴として、ご家族での参加、学生が多かった。両親と子供、総祖父母と子供という組み合わせ、また近くに所在する看護大学と短期大学の学生である。

NGO相談員ブースでは、NGO相談員宣伝ポスターやチラシで広報するとともに、PWJの現地活動地の写真展示、ミャンマーの天秤棒で水汲みバケツを担いで歩く体験を行った。

地方であり、国際協力やODA、NGOについてはなじみが薄いのが、親子連れが多いイベントであったので、水汲み体験をきっかけに、話ができて、途上国の現地の様子や、国際協力について理解を深めていただいた。また、災害救助犬の活動写真も、印象に残るようであった。親と子供、総祖父母と子供の会話で、途上国現地の生活のことや国際協力のことをお互いに話さずきかけになっていた。

7 写真

	
海外の活動現場の写真等を展示	NGO相談員ブースで水運び体験があると、現地の生活や国際協力の話がはずんだ

(写真1)

(写真2)

以上

平成31年2月18日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
ピースウィンズ・ジャパン

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名:

企画実施概要:

①実施内容

海外におけるNGO支援活動の現状や課題・ODA事業について、総合的な学習(羅針)の時間の中で25分程度の講義を2コマ行うかたちで講義を行う。まず海外緊急支援におけるレスキュー犬の活動等、そして国際協力の活動全般について例を紹介しながら話し、2コマで国際協力の理解を深めてもらう。

②対象者および参加予定人数

広島県立三原高等学校の1年生

2 出張者氏名

角免昌俊

3 依頼元／主催団体名

広島県立可部高等学校 教諭 上元 真弓

4 実施日時

平成30年11月27日 (火) 13:25~16:15

5 実施場所

広島県立可部高等学校(広島県広島市)

6 実施報告

総合学習の人権教育として「世界の紛争、災害、貧困」というテーマに講演を行った。講演者の経験をもとに、パキスタンやネパールでの災害支援、シエラレオネ難民支援、イラクやシリアでの緊急支援での国際NGOの活動を紹介した。また、支援方法としてスフィアスタンダードなど基準があることを紹介し、支援の実態について話した。

可部高校では、生徒たちの自発的な活動により衣類を集めてユニクロに提供し、難民支援をおこなうなど、国際協力への関心が高い。海外での支援活動に対して、興味深く話を聞いている様子が見受けられた。

7 写真

	
<p>講演の様子 全校生徒約700人を対象に体育館での講演会</p>	<p>講演終了後、生徒代表からの挨拶 「国際協力の現状や支援方法に知ることができ、自分たちでできることを考えていきたい」</p>

(写真1)

(写真2)

以上

平成31年2月18日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
ピースウィンズ・ジャパン

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名:

島根大学国際交流センター主催「グローバルインサイト・セミナー」

企画実施概要:

①企画内容

大学に在籍する学生を対象に(専攻を問わない)、NGOのアジアの現場の状況を知り、大学の所在する中国地方における国際協力を通じた地方創生について、知見を深める機会とする。

②参加者数

島根大学学生および教員 14名

2 出張者氏名

東村康文

3 依頼元/主催団体名

島根大学国際交流センター

4 実施日時

平成2018年11月28日 (水) 9:00~18:00(うち昼休憩1時間)

5 実施場所

島根大学松江キャンパス(島根県松江市)

6 実施報告

①ネパールとスリランカ、ミャンマーにおける国際協力活動の紹介

ネパール山間地域での出稼ぎ・人口流出、スリランカ紛争被災地それぞれの地域でのNGOによる課題の解決の取り組みについての紹介。

②日本の地方の経験を活用した国際協力の紹介

女性グループによる特産品開発と地域づくり、有機農業という強み・人材を活かした地域づくり、福祉のまちづくりを紹介しながら、NGOが地方の人材や経験を活用した国際協力を行っている事例を紹介し、海外での効果と、日本の地域へのインパクトについて話をした。

③質疑応答

地域を巻き込んだ国際協力をするうえで苦労したこと、地域へのインパクトとして経済的な効果などのはっきりした効果はなかったのか、技術協力の影響は何かなどの質問があった。また途上国の農村で必要な技術と日本の農村の小規模分散の開発の経験が有効なのだと思うというコメントもあった。学生と教職員であることから、地方の大学で地元の地域創生とむすびつく国際協力への関心を高めることができた。

7 写真

	
講演の様子	講演の様子

(写真1)

(写真2)

以上

平成31年2月18日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
えひめグローバルネットワーク

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 鳴門教育大学 国際教育オープンフォーラム

企画実施概要： ①実施内容
四国内の国際協力活動の取り組みを進めている特定非営利活動法人及び民間団体とが、活動の現状と課題についての報告し、国際協力の取り組みを紹介するとともに、国際協力への支援を教育関係者、国際協力関係者に呼びかけ、参加各団体同士が連携し、鳴門教育大学との連携強化を図った。

取り組み紹介では、四国のNGO活動やフェアトレードに関する動きについて紹介するとともに相談対応を行った。

②対象者および参加人数

幼・小・中・高等学校の教員、学生、大学教員、国際協力関係者：約1,200人

2 出張者氏名

竹内よし子

3 依頼元／主催団体名

鳴門教育大学 教員教育国際協力センター

4 実施日時

平成30年11月3日（土） 13:15 ～ 16:40

5 実施場所

鳴門教育大学（徳島県鳴門市）

6 実施報告

参加者からの声

①徳島、愛媛、高知のNGOと香川の小学校教員による国際協力活動、国際理解教育活動の発表を通じて、鳴門教育大のJICA研修生とNGOや学校がもっとコラボできると良いのではないかと思った。

②NGO活動を継続するのがいかに大変か、また大事であるかがわかった。国際協力も地域の文化にしていきたいと思った。

③四国のフェアトレードネットワークが出来つつあることを知れて良かった。大学でも学生に呼びかけたいと思った。

7 写真



(写真1)

(写真2)

以上

平成30年12月11日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
NGO福岡ネットワーク

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 「アミカス30周年祭」でのNGO相談員 PRブース出展

企画実施概要:

①実施内容

福岡市男女共同参画推進センター アミカスにて、国際協力への参加を促すためのブース出展を行う。フリーマーケットやクイズコーナーを通して、NGOの活動を紹介、そしてNGO相談員として相談を受け付ける。

②対象者および参加人数

NGO福岡ネットワーク(3名)。NPO,NGO,市民団体(計19団体)。一般参加の市民(ブースへの来客350名)

2 出張者氏名

原田君子、森智子、住本大輔

3 依頼元/主催団体名

福岡市男女共同参画センター アミカス

4 実施予定日時

2018年11月3日、11月4日

10:00~17:00

5 実施場所

会場名:アミカス(住所:福岡県福岡市)

6 実施報告

国際協力・NGOに触れたことのない方に興味を持ってもらうことを目的として、NGOの活動に関する相談はもちろん、初めての方にもやさしいクイズコーナーを運営した。
始めはイメージのつかなかった外国での支援活動も、身近な問題をきっかけにすることで理解を促すことができた。他団体が行っていたフリーマーケットでは、その収益金が実際に支援活動に使われるということを説明すると、「それなら!」と興味を示してくれる参加者も多かった。

7 写真



展示・販売ブースの様子。NGO相談も受け付けました。

(写真1)



開催時の様子。親子連れをはじめ、たくさんの方がブースにお越しになりました。

(写真2)

以上

平成30年12月11日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
NGO福岡ネットワーク

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 「国際協力フェスタ地球市民どんたく」でのNGO相談員 PRブース出展

企画実施概要: ①実施内容
天神中央公園にて、国際協力への参加を促すためのブース出展を行う。NGOの活動を紹介、NGO相談員として相談を受け付ける。また、他の国際協力団体と協働して国際協力への市民参加を促すイベントを運営する。

②対象者および参加人数
NGO福岡ネットワーク(2名)。NPO,NGO,市民団体(計16団体)。ブース来場約200名

2 出張者氏名 原田君子、住本大輔

3 依頼元/主催団体名 地球市民どんたく実行委員会

4 実施予定日時 2018年11月18日 10:00~16:00

5 実施場所 会場名:天神中央公園(福岡県福岡市)

6 実施報告
国際交流事業などをメインに行う団体などと一緒にイベントへのブース出展を行った。このブースでは国際協力活動について具体例を示しつつ、理解・興味を深めることを目的としていたため、他のブースが扱う内容をうまく補完することができた。特に学生団体や大学ゼミからの訪問者にとっては、有用な情報を提供することができた。当日は留学生インターンもブースに立ち、より具体的で身近な情報を発信することができた。

7 写真



地域の大学生やゼミのグループがブースを訪れ、クイズへ参加した。「ネットワークNGOの役割」といったテーマについてレクチャーした。

(写真1)



外観。福岡市の中心地での開催、同日に多数のイベントが行われており、会場となっている公園は人通りが多かった。

(写真2)

以上

平成31年2月18日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
沖縄NGOセンター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名:

おきなわ国際協力・交流フェスティバル2018

企画実施概要:

①実施内容

JICA沖縄センター主催のフェスティバルにて、パネル展と子ども向けのワークショップを実施。パネル展示ブースにてNGO相談員制度のポスターの掲示やちらしの配布、制度についての説明を行った。また、子ども達向けに参加型ワークショップとしてネパールから世界とつながるをテーマに実施した。

②対象者および参加人数

地域住民500人程度

2 出張者氏名

永田有希・眞壁由香(参加予定人数が多数のため)

3 依頼元／主催団体名

JICA沖縄センター

4 実施予定日時

平成30年11月23日 (金) 10:00 ~17:00
平成30年11月24日 (土) 10:00 ~17:00

5 実施場所

会場名JICA沖縄センター(住所:沖縄県浦添市)

6 実施報告

ブーステーマは「世界のウチナンチュ」とし、ブース内でNGO相談員の広報も行った。「NGOって何?」「娘が国際系の仕事目指しているんだけど、どういった仕事をしているの?」「NGO興味あるけど、実際どうということするの?」などたくさんの相談を受けたことでNGO相談員制度の周知をすることができた。
また、子ども向けワークショップでは「世界のあそび」をテーマにネパールの遊びを通して世界に触れてもらい、世界とつながるきっかけ作りとなった。

7 写真

	
会場にて相談員ブース出展	子ども向けのワークショップの様子

(写真1)

(写真2)

以上

団体名

特定非営利活動法人
沖縄NGOセンター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名:

シニアライフにおけるボランティア活動

企画実施概要:

①実施内容

国際協力について考えるワークショップを実施し、これからの生活で自分たち
にできる活動についてディスカッションをして考える。NGO相談員制度または
SDGsの取り組みなどについて紹介した。

②対象者および参加人数

ペアーレ学園 幸寿大学の学生58名

2 出張者氏名

永田 有希

3 依頼元／主催団体名

ペアーレ学園 幸寿大学

4 実施予定日時

平成30年11月29日 (木) 13:30 ~ 15:00

5 実施場所

会場名(住所: 沖縄県沖縄市)

6 実施報告

60代以上の参加者が多く、子や孫に伝えていくべき沖縄問題についてのディ
スカッションを通して、世界の現状や課題を身近に感じてもらうことができた。
「大きなことはできないが、こういう話し合いができる場がもてて良かった」
「SDGsという言葉は初めて聞いたが、難しく考えず次の世代へ伝えていくこと
が大切だと感じた」などの意見が出て持続可能な取り組みとして何ができる
のか、今後の実践に向けて考えるきっかけ作りになった。

7 写真



講座全体の様子

(写真1)



各グループディスカッション後共有の様子

(写真2)

以上